

第2回新潟市教職員育成協議会の意見概要

学校人事課

(1) 指標策定の解説について

- ・教職員の自発的な資質向上を促す文言をリード文に加えるなどして、指標策定の目的がより明確になるようにする。なぜ学び続ける必要があるのか、教職員一人一人が勇気を奮い起こすようなメッセージがあるとよい。例えば、リード文に「これからの社会を生き抜き、次の時代を切り拓いていく子どもを育てる」等の言葉を加える方向で検討する。
- ・「授業力」「組織マネジメント力」「人間力」の関係図及び研修体系イメージ図を見直す。研修体系イメージ図の色合いを工夫するとともに、養護教諭・栄養教諭・事務職員の研修を位置付けるとよい。
- ・新潟市教育ビジョンの「市民としての感性」「市民感覚に富んだ教職員」を、指標にどう表していくかが大事なところである。

(2) 「校長及び教員」の指標について

- ・新潟市が求める着任時の姿（文言）を見直したほうがよい。「対応力・創造力」の項目の新潟市が求める着任時の姿を「新しいことに積極的にチャレンジする」に修正する。
- ・想像もつかない出来事に対してどう対応していくかが求められる中で、「対応力・創造力」はこれからの教職員にとって大事である。
- ・「対応力・創造力」は、自分の授業をどうつくるか（授業構想）にも関連してくるであろう。また、「人間力」は、「授業力」「組織マネジメント力」の基盤となるものであると考えることもできる。
- ・すべての項目において、組織の一員（チーム学校）として一人一人が意識して動くことを大切にしていかなければならない。

(3) 「養護教諭・栄養教諭・事務職員」の指標について

- ・養護教諭及び栄養教諭の「特別支援教育」「危機対応」の指標内容が、より具体的になるとよい。
- ・不登校児童生徒への対応やアレルギー対応など、危機回避・危機対応でのそれぞれの役割を記す方向で検討する。